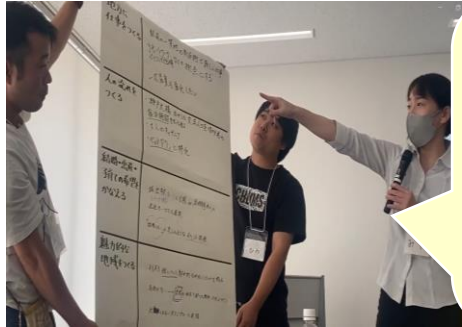
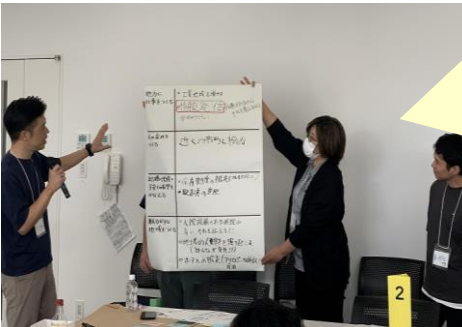
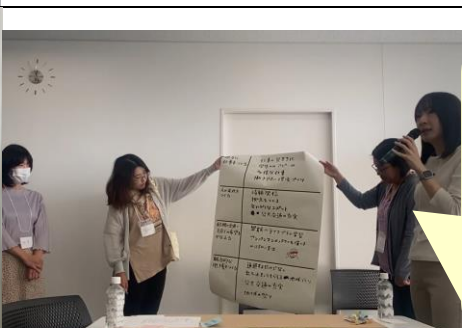


グループでの発表

グループごとに、坂出市に必要な取組について発表してもらいました。

1 班	地方に仕事を つくる 人の流れをつくる 魅力的な地域をつくる		・駅前の一等地を有効活用。仕事を誘致したり、人の流れをつくる。リモートワークの拠点整備等。 ・坂出に泊まってもらうための整備(交流人口増) ・ベッドタウンとしての機能性向上(移住者増)。 ・話題性としてキッズニアも良い。 ・駅に子ども園の整備、保育園等の送迎等のサービスの充実も必要。 ・誰にとって魅力的なのかを考える。 ・若者に特化した拠点形成、坂出の独自性を活かす。
2 班	地方に仕事を つくる 人の流れをつくる 魅力的な地域をつくる		・工業地帯を増やす。 ・総じて、情報発信が弱い。 ・近くの市町と連携・協力し合うことが大切。 ・保育制度の拡充(朝・夜の保育等ソフトな展開) ・坂出駅を起点とした送迎 ・“みんなが先生”＝地域の人々の特技をそれぞれアウトプットしてあげることで、暮らしが豊かになるのでは。 ・市外から呼び込むために宿泊施設の拡充
3 班	地方に仕事を つくる 人の流れをつくる 魅力的な地域をつくる		・情報の見える化。どんな仕事・求人があるか、求人・職の能力、掘り起こし、ジョブボードで整理。 ・Uターンの最初の受け皿がわからない、協働で共創していけるような仕組みがほしい。 ・拠点ができると点が線に、線が面になる。 ・しっかり学べて、働けて、遊べる場所が必要 ・子どものころからライブビジョンが学ばせたい。 ・小さい頃から大人になるまで、愛着が持てるイベント場所がほしい。夜の面白さの充実を期待。 ・全ての根本は暮らしが大事
4 班	地方に仕事を つくる 人の流れをつくる 魅力的な地域をつくる		・「こんな仕事がある」を学生に伝える情報発信や機会が必要。 ・坂出ならではの拠点(例:文化的なスポット)をつくる ・アンパンマンを活かしたイベントで家族に来てもらう。 ・立ち止まってもらえるまちになってほしい。 ・地域でも祭りやイベントをやっているの、知ってもらって、参加してもらって、魅力を発信!
5 班	地方に仕事を つくる 人の流れをつくる 魅力的な地域をつくる		・ハイテクな技術を持つ企業や人材等と交流したり、学べる機会が必要。 ・それらを通じて、新しい仕事を増やしたりすれば、にぎわいが生まれるのでは? ・地元の交流も含めて、歩いて楽しめる企画もの必要。 ・遍路道を Wi-Fi にするのも良い。

今後

○今年度のワークショップは、今回で終了となりますが、皆様から頂いた意見をもとに、第3期の総合戦略の検討を進めていきます。ご参加頂いた皆様、ありがとうございました。

令和6年 10 月

No.02

坂出市 政策課
Tel:0877-44-5001
Fax:0877-44-5032

坂出まちづくり 資料 2-2

ワークショップ ニュース



未来の坂出市に必要な取組について考える 第2回目のワークショップを開催しました!!

坂出市では、平成27年10月に第1期の「坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、現在、第3期の計画の検討を進めています。

総合戦略は、全国的に進む人口減少やまちの衰退を食い止めるため、「まち」「ひと」「しごと」に視点を置き、行政をはじめ、市民や地域、団体、企業等、市全体でまちの活性化に取り組む計画です。

計画の検討を進めていくにあたって、地域の皆さんとともにこれからの坂出市に必要な取組やアイデア等を検討するワークショップを開催しています。

第2回目は、10月12日で開催し、計19名に参加いただきました。ワークショップでは、「未来の住みたいまちについて考えよう!」をテーマに、将来の坂出市のまちを見据え、必要となる取組について対話いただきました。

～当日のプログラム～

1. 開会・あいさつ
2. 事業の説明
3. 情報提供 (WEB@東京より)
4. 前回の振り返り
5. ワークショップ(ワールドカフェ)
 - ・方法説明
 - ・アイスブレイク:名札作成と自己紹介
 - ・テーマ1:地方に仕事をつくる
 - ・テーマ2:人の流れをつくる
 - ・テーマ3:結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 - ・テーマ4:魅力的な地域をつくる
 - ・個人・グループにてまとめ
 - ・発表
6. 閉会

未来の坂出市にとって“必要となる取組”について話し合いました！

当日のワークショップ（WS）の流れ

当日は、総合戦略を検討する趣旨や背景等について、東在住の方から、“地域外からみた坂出”等の情報提供を行い、テーマごとに対話を行うワークショップを実施しました。
最後にすべてのグループから発表いただきました。



事業の説明

情報提供（12月より地域おこし協力隊で働く方（東京在住）より）



○東京からみた坂出の魅力
・交通アクセスがよい。災害が少なく、温暖な気候
・子育て支援が充実、病院が多く、コンパクトな施設配置の印象
○坂出の強み・弱み
・駅周辺の商業施設が少ない。まちのカルチャーの発信が少ない。どんな仕事があるのか、わからない。家を選ぶ際に、空き家だと大きすぎる 等

ワーク



席を移動してより多くの人と対話（ワールドカフェ方式）

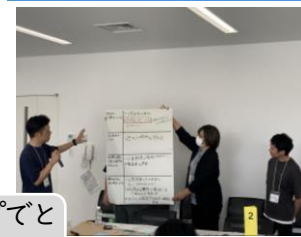


気づいたことをテーブルクロス（模造紙）に記入



最後は個人・グループでとりまとめ

グループごとに発表



総合戦略の各テーマ（1～4）に対するご意見（抜粋）

国の総合戦略の方針に沿って、4テーマに対して、参加者に対話いただき、坂出市にとって、必要となる取組に対して、ご意見を頂きました。以下では、抜粋したご意見を掲載しています。

地方に仕事をつくる	人の流れをつくる	結婚・出産・子育ての希望をかなえる	魅力的な地域をつくる
（仕事や職種の見える化、マッチングの機会創出） ● 仕事の見える化。掘り起こし（求人、職能）、ジョブボード ● どんな仕事があるのか、一目でわかる情報がほしい ● 仕事を知る機会をつくる（大人のキッズニア（家族も巻き込む）） ● 企業と求職者のマッチングの機会を作る ● 大学や高校のころから企業とのつながり （魅力的な新しい仕事づくり） ● 新しい仕事の創造、今の仕事に付加価値をつける。ex)映像クリエイター、オンラインでできる仕事の斡旋とか。 ● 仕事をつくる（公共事業、ショッピングモールなど）、職種の幅を増やす（アパレル、営業） （商店街の活性化） ● 商店街を活性化して坂出駅周辺を魅力的にすることで、第三次産業の仕事が増える （工業地域の開発） ● 不耕田畑を工業地域に再開発する （リモートワークしやすい企業・環境整備） ● 新しい職業の拠点づくり、リモートワーク ● リモートできる仕事を増やして住んでもらう（リモートワークできる企業の誘致） （名産をつくる） ● 「食」に特化した名産づくり ● 名産を作る （起業しやすい環境整備） ● Uターン、地域おこしの人（民間との係り）が起業しやすく ● 仕組化。地域づくり共同組合。Uターン者との共業、共創→協力隊 （働くための住まいの充実） ● 仕事の前に「暮らし」が大切である。若い人が一人暮らしできるようなアパートが少ない ⇒ 住まいの環境いいところに流れてしまう ● 働く人のための「住」などを充実させる 等	（アクセス性を活かす） ● 岡山、高松とのアクセスが良いので、ベトナムに特化する ● アクセスが良い事を活かして交流人口をふやす （受け皿づくり） ● 観光した後、「泊る」、「食べる」場所を作る ● 宿泊施設を増やす ● 自然を活かした施設造り ● 働く場所、訪れたい場所を作り、発信 ● 文化的な拠点 → ホテルや飲食店などパッケージでキラキラアピール力 （企業誘致、技術連携） ● 支社（支店）の企業誘致 ● 技術者が集うまちに！！（AIや自動運転） （職業体験、企業を知る） ● 高校生、大学生、大人が参加できるキッズニア ⇒ 流出を防げる、企業を知るために実施 （周辺地域と連携） ● 近くの市町村と協力する（何でも作らない） ● 周辺地域との交流 （情報発信、PR） ● 市内、市外向けの情報発信（インスタ、Tiktok） ● 山・海、坂出のよいところをもっと知ってもらうために、坂出のイベントをまちおこし協力隊に発信してもらって、居心地のよさをPR （インフラ・交通の整備） ● トンネル、新幹線を開通させて人を集める ● 市外向けではなく、市内向けの交通整備 （方向性の検討） ● 一時的に人を呼び込むのか（大型イベント）、進学や就職で出た人に帰って来てもらいたいのか、新しい人に定住してほしいのか、ダーゲットを絞って考えた方がよいのでは？ ● 文化的なマインドをつくる ● 介護でも帰ってきやすいまちに 等	（総合的な保育・育児の充実（送迎等含む）） ● どんなタイミングでも受け入れ可能な保育施設 ● 坂出駅に各保育所へ送迎する保育停留所をつくる ● 病児保育、一時保育の強化。保育時間の拡大 ● 保育制度の拡充。フレキシブルに！ ● 夜間保育 ● 幼稚園の無料化させて育児の充実 （各種サポートの充実） ● 子供が大学生になった時のサポートの充実 ● 提案型のサポートとサービス ● 子育て世代が気軽に使える支援システム ● 子供とふれあう機会をふやす （教育（人生設計）の充実） ● 早期のライフプラン学習（自分の人生設計をする機会を早いうちに設ける） ● 子供のころから、結婚～子育てなどの知識を学ぶ機会を増やす （イベント・講座の実施） ● 結婚したいと思わせるイベント・講座などを開催する （暮らしやすい環境整備） ● コンパクトシティ化（夜遊び、子育て、仕事） （駅前の機能充実） ● 坂出駅にこども園 or 送迎サービスの拠点 ● 駅と商店街にアンパンマンを増やすと子供は喜ぶ、子供が多く集まると、子育て世代も足を運びやすくなる （情報発信、PR） ● 中高生に対して仕事のアピール ● 情報発信が他市との差別化につながる 等	（交流できる場・にぎわい創出、施設整備） ● 人と人が交流できる、「あそこにいけば何か楽しいことがある」場所づくり ⇒ 趣味が合う人同士のマッチングなど ● 海の近くに海辺（海水浴）で遊べる施設 ● JR～商店街つなぐ。たまに、ではなく イベントとかキッチンカーとか楽しそうなことやる 等 （学生や若者を中心に捉える） ● 学生目線を軸に（高校（4つ）が多い） ● 中高生や若者が遊べる場所を作る （独自性を活かす） ● 他にはないオリジナルを見つける ● 都会や他のマネをしない！ ● 強みを生かす。地域の人材を掘り起こす （広域連携） ● 一つの自治体で競わない、広域で見る目線 （子どもへのアプローチ） ● 小さいころ～大人になるまで、土着できるような場所、イベント ● 子供会（中心のコミュニティ。子ども会の周りに大人が集まる） （地域活動の充実・若返り） ● 地域に関わる人達を若く ● 地域活動の充実 （公共交通の充実） ● バスをもっと日常にとけこんだ利用しやすいものにする。本数を増やしたり、どこでも走っていたり （方向性の検討） ● 観光地化計画（坂出）キャッチコピー「サカエルデ 坂出」 ● 通過するだけでなく、立ち止まってもらえる地域づくり ● 誰にとって魅力か = そもそも魅力とは何かを考える（人によって視点が変わる） 等

